



## ブラックホール新星

2010年1月26日

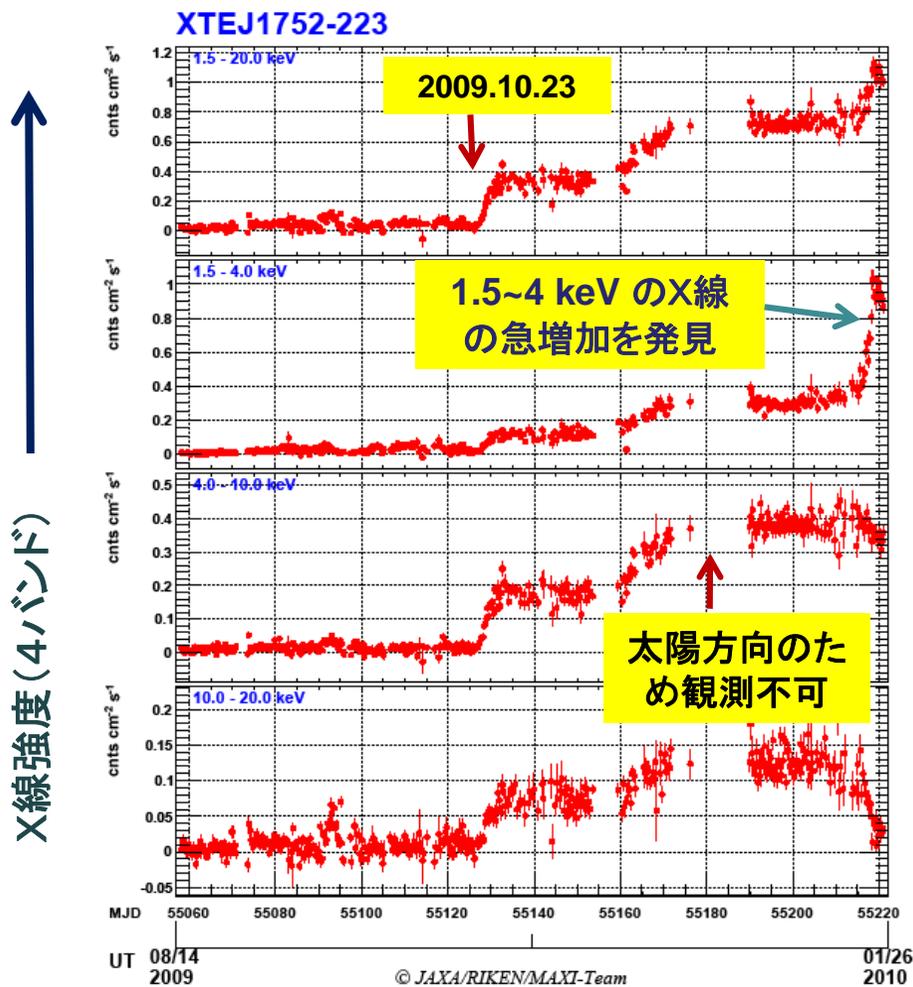
MAXI チーム(MM)

- 2010年1月初めから本日まで国際的な天文学者向けインターネット電報(ATEL)に8回速報を出しました。昨年8月から数えると21報となります。これらの速報は中性子星やブラックホールを伴う天体が爆発的に強度を増したと言う報告です。 ATEL: <http://www.astronomerstelegam.org/>
- MAXIの報告を知っていくつかの天文台でガンマ線・光・電波の観測をした報告もあります。このうち1例を紹介しておきます。☞参照
- 銀河中心近くの射手座にあるXTE J1752-223は昨年10月23日に米国のRXTE衛星で発見されたX線新星でブラックホールが通常の星と連星になっていると考えられています。MAXIは10月25日に新星爆発以前からのX線強度の変化をATELに発表しました。このたび、1月18日にエネルギーの低いX線が増加したため、再度ATELに速報しました。新星の始まる前からこれだけ連続にX線強度変動を捉えているのはMAXIだけで、WEBのアクセスも増えています。

# XTE J1752-223 のX線 急増加の発見を速報



ATEL#2396



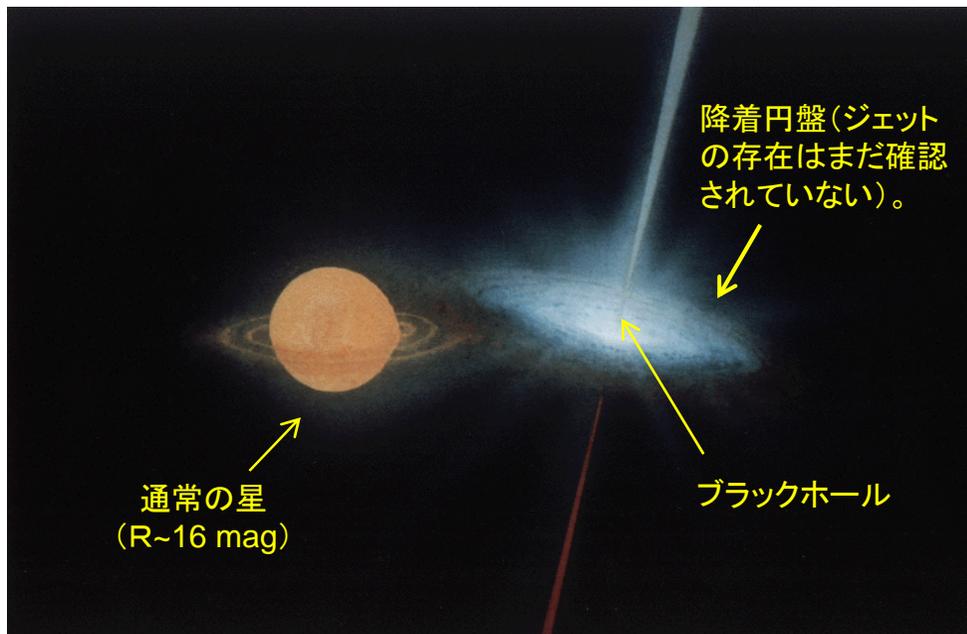
↑

X線強度(4バンド)

→

日の単位の時間軸

ブラックホール候補天体 XTE J1752-223 の想像図



2009年10月23日からブラックホールへのガスの降着状況がどんどん変動している。MAXIのデータはこの連星系や、降着円盤の物理学に大変貴重なデータを提供している。